

Title	電気グワヤコール局所麻酔ノ試験ニ就テ
Author(s)	S.N. 生
Journal	歯科醫學叢談, 2(5): 47-48
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10130/427">http://hdl.handle.net/10130/427</a>
Right	

發炎腫脹ヲ伴

患者ノ意ヲ惹

フ

クニ至ルモ炎症

状態著シカラ

ス腫脹ナシ

發生地 一般ニ失活

發生地 失活有活齒髓

齒髓齒牙及

ニ關セズ

根部ヲ侵ス

原因 局所刺激例之

原因 發見セララ

ハ脈衝又ハ腐

原因ナシ

敗齒髓打撲ノ

異物嵌入等一

定ノ原因ナリ

白垩質膜膿瘍ハ概ネ貧血ノ人ヲ襲スモノト

ス

豫后 ハ常ニ不良 頑トシテ諸療効ナシ

療法 抜齒

以上ハ近刊ノコスモス紙ニ見タル所ナリ記者ノ意ヲ以テスレハすみず氏ノ所謂齒槽膿瘍ナル命名大ニ奇マサル能ハス何ゾヤ先ヅ炎症機轉ノ存セサル原發膿瘍ナルモノタルヤ假令續發膿瘍ナリトスルモ多少ノ炎機ハ免ル可カラサルヤ加之其膿瘍ナル名ノ因テ起リシ主要ノ膿汁ヲ存セストハ又解スルニ苦シム所タリ囊壁組織モ腺樣組織トハ膿瘍ノ結締織膜ト相反馳スルノ點トナス記者之ヲ目シテ齒根膜(則骨膜性囊腫)内ニ存ゼシ囊腫(CYST)ナル可シト信スルモノナリ記シテ諸賢ノ參考ニ供ス

○電氣「グアヤコール」局所

麻醉ノ試験ニ就テ

ドクトルエル、マルクス氏

著者ハ四十名ノ患者ニ對スル實驗ニ基キ左ノ報道ヲ與ヘリ左ノ如シ

(一) 流集作用ヲ以テ「ガアヤコール」古加因ヲ表皮及皮下ノ組織ニ送輸スルキハ此部ニ完全ナル知覺脫失ヲ喚起ス但シ電流ノミニ由ルモ亦「ガアヤコール」溶液其モノトシテモ各深部ノ知覺脫失ヲ起サス

(二) 知覺脫失ハ電流ヲ以テ「ガアヤコール」古加因溶液ヲ七分時半ノ間貼用スル後チニハ確ニ發揮シ、十乃至十五分時間持續ス

(三) 電流強度ハ知覺脫失ノ目的ヲ達スルマテニハ〇、二乃至〇、四「ミリアンペール」ノ間ニ在リトス

(四) 患者ハ神識ニ於テ明瞭ニシテ、殆ンド電流ヲ感受セス、拔齒術等ニ際シ極微ノ疼痛ヲ

モ感覺セス、且ツ毫モ後發作用アルヲ見ス

(五) 「ガアヤコール」不傳導體トナリテ古加因溶液ヲ一局部ニ限制セシメ、人體内ニ於ケル其吸收ヲ緩慢ナラシメ、是ニ由リテ其有害性後作用ヲ豫防ス

(六) 予ハモルトンノ使用スル鹽酸古加因ノ代リニ沃度水素酸古加因ヲ用ユ

### ○ 齶口瘡ノ鹽酸加里療法

アマデオ、レウキー氏

著者ハ齶口瘡ニ鹽酸加里ヲ稱用ス就中内外ノ兩法ヲ合用ス、著者ハモンチー氏ノ法ニ倣ヒ通常左ノ處方ヲ用ユ

處方

鹽酸加里 四、〇

沒藥丁幾 三、〇